

金鳥ダイアジノン乳剤 (防疫用殺虫剤) 使用前に必ず使用薬剤のラベルをよく読み、 十分理解した上で使用して下さい。

第2類医薬品



金鳥 ダイアジノン

乳 剤

殺 蛆 剤

うじごろし

500ml

第二石油類(水溶性)
危険等級Ⅲ
火気厳禁
殺虫剤用灯油

大日本除虫菊株式会社
大阪市西区土佐堀1-4-11
お客様相談室 TEL 06-6441-1105
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)



KINCHO

●使用中又は使用後の注意

- 保護具を必ず着用し、身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ吸い込まないように注意して下さい。特に天井等、上部に向けて残留噴霧をするときは注意し、残留噴霧後は十分換気をして下さい。
- 屋内や通風の悪い場所で作業をする場合は局所排気装置を使用するなどして、換気に十分注意し、長時間の作業は避けて下さい。
- 薬剤の調整、散布中は喫煙、飲食をしないで下さい。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行って下さい。
- 使用した後、あるいは皮膚に付いたときは、石けんと水でよく洗い、水でうがいをして下さい。万一、薬剤が口、目などに入ったときは、直ちに水でよく洗い流して下さい。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えて下さい。また、必要に応じて、医師の診察を受けて下さい。
- 薬剤処理に用いた機械器具や使用済容器等は石けん水でよく洗い、特に噴霧器はよく手入れをしておいて下さい。また、小児が器材等に触れないようにするとともに洗浄廃水や使用済液は作業現場から持ち帰り、処分に当たっては自治体の条例に従って処分して下さい。河川、湖沼、下水道等の水域や、地下水を汚染する恐れのある地中には捨てないで下さい。
- 作業時の衣服は、他の衣服と区別して洗濯し、保護具も洗剤でよく洗って下さい。
- 使用済みの空容器等は、石けん水でよくすすぎ、適切に処分して下さい。

●保管上の注意

- 使用後、残った薬剤原液は、ラベル表示のある元の容器に密封し、施設できる貯蔵庫で他のものと区別して保管して下さい。また、関係者以外触れないようにして下さい。
- 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない冷暗所に保管して下さい。

●その他の注意

- 漏洩した場合には、次のように処置して下さい。
 - ① 吸収性の媒体、例えば砂、軽石、ポロ布、オガクズなどに吸着させ、広がりを阻止して回収して下さい。
 - ② 火災の危険が生じた場合には、すべての火元を止め、火災の誘発を防止する処置を講じて下さい。
 - ③ 漏洩した薬剤が井戸、池、河川などの水系に流入した場合には、直ちに警察又は保健所に届け出て下さい。
- 火災事故の場合には次のように処置して下さい。
 - ① 火災の拡大を軽減する最大の措置を講じて下さい。
 - ② 薬剤が燃焼すると有毒なガスが発生する恐れがあるので、人を避難させて下さい。
- 使用に際してのご不明な点や事故等があった場合は、製造販売元へ連絡して下さい。

注意-人体に使用しないこと

【使用上の注意】

してはいけないこと

- 薬剤を口や目に入れないで下さい。
- 小分けしたり、水で希釈するときは、食品用の容器等、誤用の恐れのあるものを利用しないで下さい。
- 希釈の際は、水がはね返らないようにして均一に攪拌し、直接手でかき混ぜるようなことはしないで下さい。希釈する容器は専用のものとし、他と兼用しないで下さい。

【相談すること】

万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、吐かせず直ちに医師の診察を受けて下さい。薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合などには、直ちに使用を中止し、清浄な空気の場所で安静にして、医師の診察を受けて下さい。医師の診察を受ける際には、本剤が有機リン系の殺虫剤であること、および使用薬剤の名称、成分名、症状、被曝状況について出来るだけ詳細に医師へ告げて下さい。

●使用に際しての注意

- 定められた用法、用量を厳守して下さい。間違った使い方やされた場合、生じた事故についての責任は負うことができます。
- アレルギー症状やかぶれ等を起こしやすい体質の人は、薬剤に触れたり作業に従事しないで下さい。
- 病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させて下さい。
- 使用目的以外の環境に影響を及ぼさないために生物を避け、養魚池、井戸、地下水等を汚染する恐れのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水棲生物等に被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないで下さい。
- 食品、食器、おもちゃ、愛玩動物、観賞魚、飼料、寝具、衣類等は、あらかじめ他へ移すかあるいは格納し、薬剤がかからないようにして下さい。
- 保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)および使用する防除器具は、あらかじめよく点検整備して使用して下さい。
- 使用に際しては、必要量だけを取り出し、その都度使い切して下さい。
- 本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないで下さい。
- 希釈した液は不安定なので、その都度必要量を調整し、また、直射日光の下に放置しないで下さい。アルカリ性の下では分解しやすいので、石けん液等の混入を防止して下さい。
- 塗装面や合成樹脂の中には、薬剤によって侵されやすいものがあるので注意して下さい。また、濃厚希釈液の場合は、植物にかかると枯れることがあるので注意して下さい。
- 大理石やつらつく、白木等に薬剤が付着した場合に茶色、変形することがあるので注意して下さい。
- 薬剤原液は引火の恐れがあるので、火気のある場所では取り扱わないで下さい。また、電気火花が発生しそうなところでは電源を切ってから使用して下さい。

【効能又は効果】 ハエ成虫、ハエ幼虫(ウジ)、蚊成虫、蚊幼虫(ボウフラ)、ゴキブリ(油虫)、ノミ、ナンキンムシの防除。

【用法及び用量】 目的に応じて水で希釈し、一般に害虫の生息又は発生場所に対して使用して下さい。

害虫名	使用量
ハエ・蚊成虫	直接噴霧：通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧して下さい。この際、過剰な使用を避けて下さい。 残留噴霧：1㎡につき10倍液50mlをハエや蚊のよく止まる天井や壁等の全面に、あらかじめ噴霧して下さい。
ハエ幼虫(ウジ)	1㎡につき200倍液2ℓを幼虫の発生場所に散布して下さい。ゴミや堆肥の場合は、よく内部までしみ込むように400倍に希釈して散布量を2倍として下さい。
蚊幼虫(ボウフラ)	発生場所の水量1㎡につき本剤の40ml(有効成分2ppm)を、適宜水で希釈して散布して下さい。
ゴキブリ(油虫)	1㎡につき5~10倍液50mlの割合で重点的に、ゴキブリの潜み場所あるいはよくはい回る場所に残留塗布又は噴霧して下さい。
ノミ、ナンキンムシ	1㎡につき5~10倍液50mlの割合で使用して下さい。

【成分及び分量】【有効成分】

ダイアジノン.....5.0g (100ml中)

【その他の成分】

ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ドデシルベンゼンスルホン酸Ca、エポキシ化ダイズ油、キシレン、灯油、他1成分

L O T N O .